

**4th Grand Canvas : AI本質の未来を共に描く
～AI品質マネジメントネットワーキングシンポジウム～**

【ポジショントーク】 パナソニックのAI安全品質に関する取組み

2025.03.04

**パナソニック ホールディングス株式会社
プロダクト解析センター
岡本 球夫**

自己紹介



名前：岡本 球夫（おかもと たまお）

所属：パナソニックホールディングス株式会社
プロダクト解析センター 課長

主な経歴：

- ・ サービスロボットの開発・事業推進
- ・ ロボット安全技術開発・標準化
- ・ AI安全品質技術開発・標準化



⇒令和6年度産業標準化事業表彰 受賞

プロダクト解析センター 7つの価値提供



パナソニックのモノづくりの遺伝子

お客様大事の心

昭和10年に制定された松下電器の基本
内規第15条

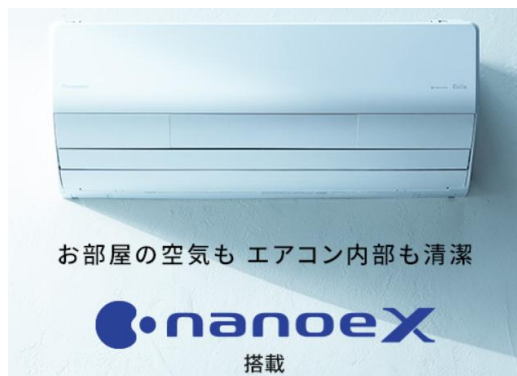
「松下電器が将来如何に大をなすとも、常
に一商人なりとの観念を
忘れず従業員、またその店員たる事を自
覚して、質実謙讓を旨として、
業務に処する事」

常に
お客様の立場に立って仕事をする。
お客様の立場に立って商品をつくる。

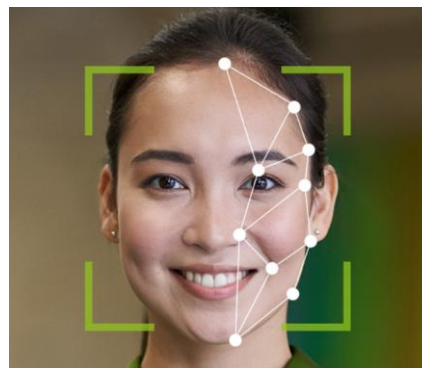
→ 商品の安全品質は最も重要なこと



パナソニックのAI開発



スマート家電



顔認証



自律搬送ロボット
(パナソニックAI HPより)

パナソニックグループのAI倫理原則（2022年）

1. 「より良い暮らしとより良い社会」を実現すること

私たちは、AI製品やサービスがお客様個人や社会や環境に与える影響を事前に考慮し、お客様の暮らし、および社会・環境がより良くなると見込まれる場合にそれらをお客様のもとにお届けします。AI製品やサービスをお届けした後も、お客様の暮らし、および社会・環境に与える影響を評価し続け、その結果を製品とサービスに反映させます。

2. 安全のための設計、開発、検証を行うこと

私たちは、AI製品とサービスの安全を第一に考えます。安全確保のための技術開発を行い、技術的知見を吸収し、それらを設計に反映させます。お客様にお届けした後も、安全確保のための必要な対応を行います。

3. 人権と公平性を尊重すること

私たちは、AI製品やサービスをお届けするにあたり、人々の多様性を尊重し、差別をはじめとする不正な影響が生じないように努めます。
このためにパナソニックグループ社員に対して必要な教育を実施してまいります。

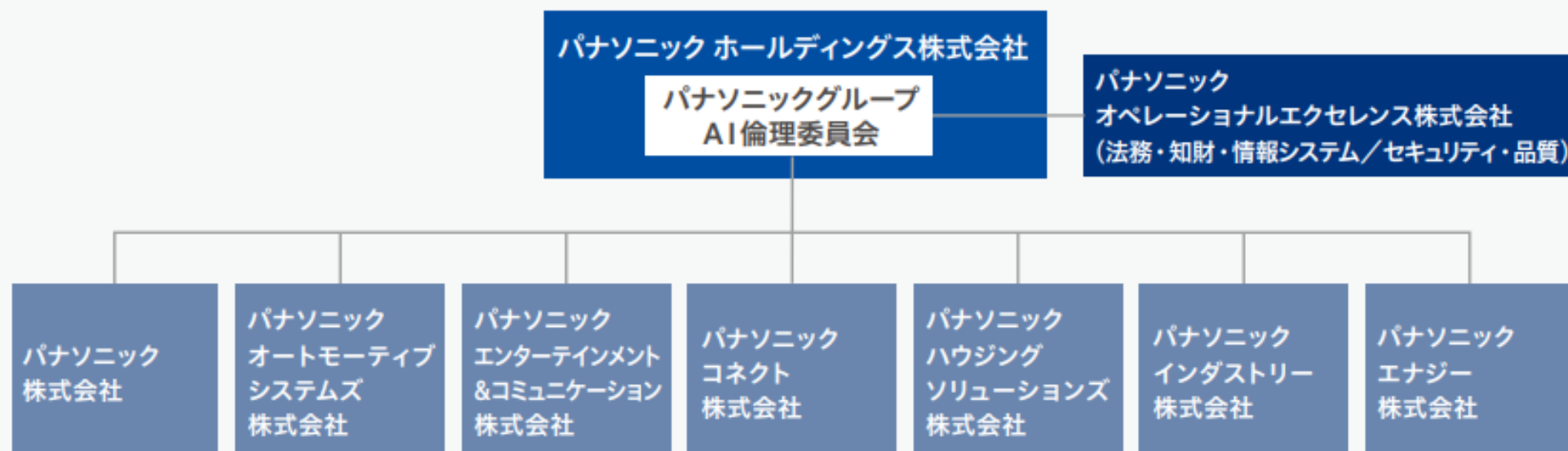
4. 透明性と説明責任を重視すること

私たちは、お客様や関係する皆様に対してAIの動作に関して透明性を重視しAIの技術開発と設計を行います。またAI製品やサービスがもたらすと思われる影響について、お客様の求めに応じて情報提供いたします。

AI倫理に向けた取り組み推進

推進体制

AI 倫理活動は、グループ CTO 執行役員のもとで推進されます (2022 年 8 月時点)。



■ 教育

■ 主な取り組み

■ 相談窓口

■ AI倫理原則の公表

■ リスクアセスメント

■ 社外連携

大きな変革

CES 2025 Keynote



楠見 グループCEO

Panasonic Go

2032年から始まる250年計画の第5節
に向けて「Panasonic Go」を推進

2035年までにAIを活用したハードウェア
やソフトウェア、ソリューション事業を
売上の約30%に拡大

Anthropic社とのグローバルな戦略的提携
大規模言語モデル(LLM)の活用展開

パナソニックグループ ブランドスローガン

幸せの、チカラに。

※本資料に用いたコンテンツについて

下記URLの内容に基づいた内容となっています。

<https://news.panasonic.com/jp/press/jn220829-1>

https://holdings.panasonic.jp/corporate/sustainability/pdf/sdb2022j-ai_ethics.pdf

<https://news.panasonic.com/jp/press/jn250108-6>